

とくべつてん
特別展



鑑賞ガイド

聖林寺十一面観音

三輪山信仰のみほとけ

Sacred Treasures from Ancient Nara:
The Eleven-Headed Kannon of Shōrinji Temple



国宝 十一面観音菩薩立像 奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵



とくべつてん 特別展 国宝 聖林寺十一面観音 — 三輪山信仰のみほとけ

Sacred Treasures from Ancient Nara: The Eleven-Headed Kannon of Shōrinji Temple

2021年 6月22日(火)～9月12日(日)

会場 東京国立博物館 本館特別5室 開館時間 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
休館日 毎週月曜日 *ただし、8月9日(振休)は開館

*本展の入場には、オンラインによる事前予約(日時指定券)が必要です。
*展示作品・会期・開館日・開館時間については、今後の諸事情により変更する場合がありますので、
展示会公式サイト等でご確認ください。
主催:東京国立博物館、読売新聞社、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会
特別協賛:キヤノン、JR東日本、日本たばこ産業、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス
協賛:清水建設、高島屋、竹中工務店、三井住友銀行、三菱商事
展覧会公式サイト:<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/shorinji2020/> お問い合わせ:050-5541-8600(ハローダイヤル)
観覧料(税込):一般 1,400円/大学生 700円/高校生 400円/中学生以下 無料



拜殿、三ツ鳥居の写真:大神神社提供 執筆/増田政史 構成/黒沼歩未 デザイン/齋藤佳樹 編集/広隆社 制作/東京国立博物館

しぜん 自然へのいのり

- 昔から、日本人は自然のなかにあるものに神が宿ると考えてきました。その対象は、木や石など身近なものから、山や滝といった大きなもの、そして雨や雷などの天候にも及びます。
- 神社にある大きな木や岩にしめ縄が巻かれていたり、神が住むという伝説のある山や森があるのは、こういった自然へのいのりによるものです。



みわやま 三輪山

- 三輪山は奈良県の北東部にあります。高さは約467メートル。円錐形のきれいなかたちで、周りの山々のなかでもひとときわ目立つ美しさです。
- 『古事記』の神話では、国作りをしていた大国主神のもとに大物主神があらわれ、「私を大和を囲む青い垣根の山々の東の山にまつりなさい」と言っているとされています。その山が三輪山です。



おおみわじんじや 大神神社

- 三輪山のふもとには、日本で最も古い神社とされる大神神社があります。神社にはふつう、神をまつる建物がありますが、大神神社にはありません。それは昔から三輪山そのものを神として拜んできたからです。
- 大神神社には三輪山を拜むための拜殿という建物があります。その拜殿と三輪山との間に鳥居が立っています。その鳥居は一列に3つ組み合わせた独特の形式で「三ツ鳥居」といいます。



はいでん
拜殿



みつとりい
三ツ鳥居

いのりの儀式の品

- 大神神社では、酒造りそのものが神へのいのりを捧げる儀式でした。三輪山のふもとにある山ノ神遺跡からは、酒造りの道具を模したミニチュアが出土しています。



山ノ神遺跡出土品 奈良県桜井市 山ノ神遺跡出土 古墳時代・5~6世紀 東京国立博物館蔵

さけづく 酒造りのおもな工程

きね うす
杵と臼

こめつぶ
米粒からもみがらを
はず
外します。



み
箕

ふるいにかけて、
もみがらを
と
取り除きます。



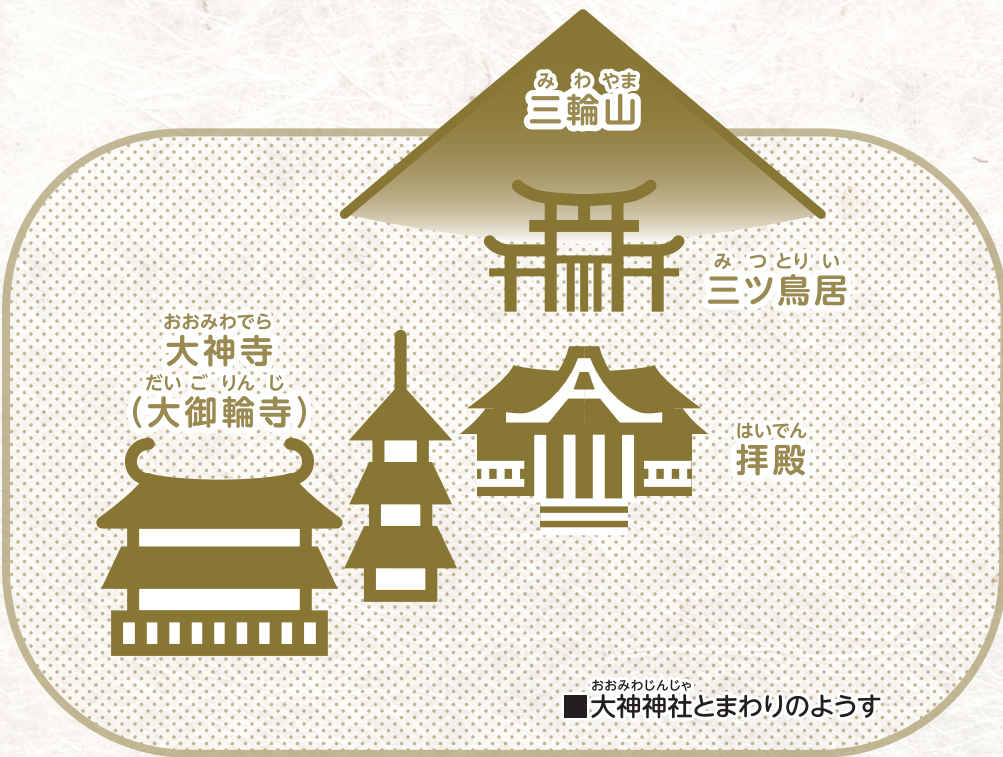
ひしゃく
柄杓とつぼ

こめ みず
米と水、
なか
こうじを中に入れて
はっこうさせます。



かみ ほとけ かん けい
神と仏の関係

- 6世紀半ばに仏教が大陸から半島をへて日本に伝わりました。その後、8世紀ごろに神社の近くに寺が建てられるようになります。
- 現代では、神社と寺は別々のものですが、江戸時代まではこのように神と仏と一緒にまつことは珍しくありませんでした。
- しかし明治時代になると、国が神と仏を明確に分ける政策を進めました。神社の敷地にあった寺からは、仏像や仏具など仏教に関わるものが取り除かれました。



しょうりん じじゅういちめんかんのん みりよく
聖林寺十一面観音の魅力

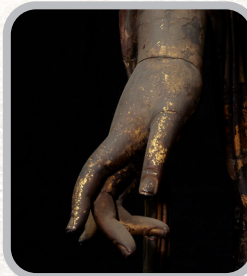
- 聖林寺の十一面観音菩薩立像は、力強く美しい仏像として有名です。もともと大神神社の境内にあった寺(大御輪寺)にまつられていました。



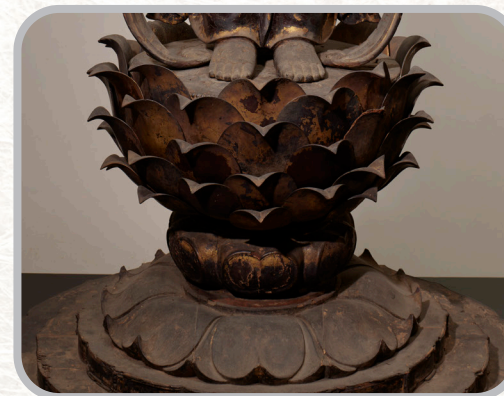
おごそ かのだ ほとけ
厳かな顔立ちには仏としての
ちからつよ
力強さがあります



こし うつく
腰がくびれた美しい
プロポーションです



て ゆびさき
手や指先がとても
しなやかです



さ ほこ はす はな
咲き誇る蓮の花をあらわした
はな だいざ
華やかな台座です